

「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

【検討グループ】

1. 大宮公園（R3～）
2. 熊谷スポーツ文化公園（R5～）
3. こども動物自然公園（R5～）

令和7年度の活動実績(大宮公園検討グループ)

【背景・課題】

大宮公園は、1885（明治18）年の開設の130年を超える歴史ある公園。

近年は、悪化した舟遊池の水質改善や池周辺を含めた魅力の創出が課題。



平成30年にアオコが大量発生

【目的】

大宮公園の歴史的価値や美しい風景、豊かな自然環境などを次世代に継承するため、
①舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全を図るとともに、②新たな賑わい創出に継続的に取り組む。

【活動実績】

- ・ 舟遊池の水辺再生、環境保全活動
- ・ 利活用促進（新たな賑わいづくり）

利活用促進(賑わい創出)の取組

大宮公園の持つ魅力やポテンシャル、公園の新たな利活用方法をイベントをとおして広く県内外にPR!

夏休みSDGs探求イベント・七夕TANABATA言の葉流し(7月)

5,000人

- ボート池での氷川神社による祭事や水辺で乾杯
- 公園ライトアップ
- 小川和紙を用いた言の葉流し
- 百年の森での夏休みSDGs探求イベント
- 生演奏ライブ・クラシックコンサート



防災車中泊&キャンプフェス(11月)

15,000人

- 大宮第二公園調節池を活用した車中泊・キャンプ
- 防災トークショーなど防災を学ぶステージイベント
- 埼玉県危機管理課「イツモ防災」PRブース
- 防災スタンプラリー



都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会



令和8年度 大宮公園検討グループの取組予定

舟遊池の自然再生と新たな賑わいづくり（利活用促進）の両輪で実施

春

夏

秋

冬

15

陸の豊かさも
守ろう

ボランティア団体「大宮池守」による舟遊池の自然再生・保全活動

6

安全な水とトイレ
を世界中に

貸しボート営業等

17

パートナーシップで
目標を達成しよう



七イベント

11

住み続けられる
まちづくりを



「防災車中泊 &
キャンプFes.」

令和7年度の活動実績(こども動物自然公園検討グループ)

課題

- ・ GWや秋の行楽シーズンにおける駐車場の混雑や周辺道路の渋滞解消
- ・ より効果的な情報・魅力発信

目標

- ・ 鉄道事業者等と連携した公共交通機関利用促進
- ・ 新たなコンテンツ等による魅力アップと効果的なPRによる来園者拡大

R7実施

- ・ 東武東上線ラッピングトレイン(クオッカトレイン)運行開始
- ・ クオッカトレインポータルサイト「quokka-train.com」の開設

R8予定

- ・ 意見交換会
- ・ 東武東上線ラッピングトレイン(クオッカトレイン)を活用した公共交通機関利用促進
※その他、意見交換を通して出た案について、できることを連携して行う。

これまでの活動実績(熊谷スポーツ文化公園検討グループ)

- 課題**
- 東西に広く、中央を道路で分断されている。園内の豊富なリソースを活用し、公園全体としての魅力をどのように高めていくか。
 - 公園の名称にもなっている「文化」の側面が弱い。
 - 熊谷駅から北東へ約5 kmというロケーションの課題。
 - リーグワンなど大規模イベント時の渋滞の発生。

- 活動状況**
- R5年度 園内施設見学、意見交換
 - R6年度 意見交換
 - R7年度 熊谷市産業祭への出展・アンケート実施

- 主な意見**
- 【公園全体でのイベントの開催】 ➡ラグビー観戦後に公園へ宿泊するイベントの開催（パークウィング、車中泊、テント泊等）マルシェ、パブリックビューイング（スポーツ観戦）公園全体でのスタンプラリー、焼き芋体験（園内落葉を利用）など
 - 【文化に関するイベントの定期開催】 ➡音楽祭映画祭、学生による美術作品の展示、フォトコンテスト、ドライフラワーなどのワークショップ
 - 【施設の整備】 ➡飲食店、シャワーなど長期滞在を促す施設整備、公園内で循環する仕組み作り（公園内に畑を作る⇒取れた野菜を園内のカフェ・レストランで調理⇒食品残差堆肥化⇒畑）

R8年度の方向性 議論した内容を実現に向けて更にブラッシュアップしていく